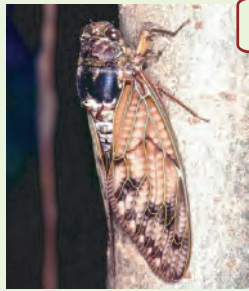




# セミをさがそう



発行：福井県自然保護センター  
写真協力：富沢章氏、松村俊幸氏



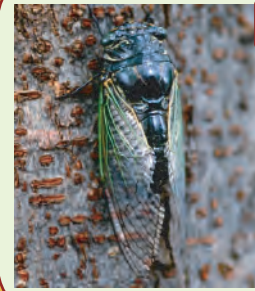
### アブラゼミ

(大きさ5～6cm)  
●町なかの木や果樹園にいて、一番多い  
●ジーリジリジリ…とかジージーと鳴く



### ミンミンゼミ

(大きさ6～6.5cm)  
●里山の林にいて  
●クマゼミに次いで大きい  
●ミンミンミンミーと大声で鳴く



### クマゼミ

(大きさ6～7cm)  
●町なかの木にいて、大きくて黒い  
●シャンシャンと大声で鳴く  
●西日本から東海地方の太平洋側では多いが、県内ではまだ少ない



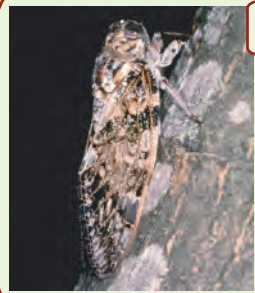
### ツクツクホウシ

(大きさ4～5cm)  
●平地から里山の林にいて  
●ニイニゼミに次いで小さい  
●ホーシツクツクと鳴く



### ヒグラシ

(大きさ4～5cm)  
●里山のうす暗い林にいて  
●朝と夕方にカナカナと鳴く



### ニイニゼミ

(大きさ3～4cm)  
●町なかの木にいて、小さくて目立たない  
●チーと連続して鳴く



# バッタをさがそう



## ●バッタのオス・メスの見分け方

ほとんどのバッタは、たくさん卵を産むメスの方がオスより大きく、オスはメスの半分以下の大きさのしゅるいもいます。また、オスとメスは腹の先の形によって、見分けることもできます。

## ●緑色型と褐色型がある

すべてのバッタには、体が緑色の緑色型と、体が茶色の褐色型(かっしょくがた)があります。

●オスのはらの先



舟のへさきのように

手で形をとると、こうなる



●メスのはらの先



スコップの形をしたものが4つついていて、上下、左右に分かれている。ここから卵をうむ

手で形をとると、こうなる



### ショウリョウバッタ

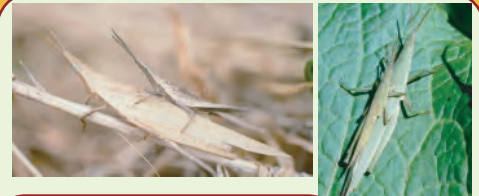
上：オスの褐色型  
下：メスの緑色型

●大きさ 4～8cm  
●時期 8～11月



### トノサマバッタ

●大きさ 3.5～6.5cm  
●時期 7～11月



### オンブバッタ

●大きさ 2～4.2cm  
●時期 8～12月

左：褐色型  
右：緑色型



### クルマバッタモドキ

●大きさ 3.2～6.5cm  
●時期 7～11月



### コバネイナゴ

●大きさ 1.6～4cm  
●時期 8～11月



### エンマコオロギ

●大きさ 2～2.5cm  
●時期 8～11月  
●メスにはおしりに卵をうむための長い管がある

## 外国から来たバッタ アオマツムシ



●大きさ 2.3～2.8cm  
●時期 8～11月

街路樹(がいろしゅ:道路のわきに植えられた木)や庭木などの木の上で、「リーリー」という大きな声で鳴きます。昔から日本にいたのではなく、外国から来たバッタで、1900年ごろ東京で初めて見つかり、1970年代から増え始めました。今、町なかでは、一番多く鳴き声が聞こえます。



0  
1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28